資料　1

桃井第二小学校校舎改築基本方針（案）

改築基本方針（案）	これまでの主な意見
1　多様な学びの場を備え、質の高い学習環境を備えた学校をつくる A 一斉指導、ティームティーチング（TT）、個別・少人数指導、グループ学習など多様な学習形態に対応できる施設とします。 B 電子黒板やタブレット型情報端末などの ICT 教育環境を充実させ、児童が自ら考え、判断し、表現する力を育む施設とします。 C 子どもたちが、主体的に調べ学習に取り組み、学びの探究心を育むことができる充実した図書室環境を整備します。 D ゆとりのある広さの校庭を設け、子どもたちが元気に遊べ、進んで運動できる環境を整備します。 E きめ細かな学習・生活指導ができるよう特別支援学級の施設環境を充実させるとともに、ユニバーサルデザインに配慮した施設とします。	○学力の向上に努め、講師を入れて少人数クラス展開を行うなど、きめ細かい指導を行えることが重要。(A) ○「持続可能な発展のための教育（ESD)」の視点に立ち、子どもたち自ら課題設定・解決に取り組む教育活動を行っている。(A,B,C) ○充実した理科室設備になるとよい。(A,B) ○タブレットパソコンや電子黒板を活用した学習の取組が欠かせない。(B) ○読み聞かせの充実や読書週間の設定など、読書活動の推進を行っている。(C) ○子どもたちが元気に遊べるいい場所としての施設づくりをして欲しい。(D) ○体力の向上に努め、ランニング、長縄大会や朝庭の実施など進んで運動できる環境づくりを行っている。(D) ○地域にあまり広場がないので、プールと体育館をセットにして全部校庭用地にするのが理想。(D) ○校庭をできるだけ広く確保すべき。(D) ○特別支援学級（ひまわり学級）が併設され、日常的に通常学級の子どもたちと交流を深めている。(E) ●様々な子どもに対応できる個別学習室が必要。(A) ●多様な子どもが増えているため、クールダウンができるスペースも必要ではないか。(A) ●学年で取り組む学習を行うにあたって、2 クラス、3 クラスが入れるような、多目的に使える部屋があるとよい。(A) ●教育諸室が有効に使えるように、必要な収納スペースを確保すべき。(A) ●パソコン室にとらわれず、タブレットＰＣの活用を前提に、多目的に使える学習空間が設けられるとよい。(A,B) ●地域の協力の下、図書の読み聞かせなども盛んに行っており、図書室の充実を図るべきだ。(C) ●児童が主体的に調べ学習に取り組める環境を整えた図書室にすべき。(C) ●遊びや天体観測ができるような屋上の充実が図れるとよい。(D) ●校庭の日当たり、校舎の採光を考えると、部分的な高層化の工夫などで可能な限り校庭を広く確保したい。(D,G)
2　安全・安心で快適な生活空間としての学校をつくる F 不審者の侵入防止や見通しがよく死角の少ない計画を検討し、安全対策を十分に講じます。 G 子どもたちが快適に過ごせるように、校庭・校舎ともに採光、通風に優れた配置計画とします。 H 敷地外周部に歩道状空地を設け、子どもたちの通学の安全性を確保します。 I 学童クラブを学校内に設置するとともに、小学生の放課後等居場所事業を合わせて実施することとし、放課後等に子どもたちが安心して伸び伸び過ごせる居場所をつくります。	○門頭であいさつ運動を継続して実施している。(F) ○学校内学童の設置にあたっては、学校と放課後の気持ちの切り替わり面を配慮して欲しい。(I) ○放課後遊びができる学校になれば、子どもたちの健全育成環境が充実する。(I) ●学校、学童クラブともに、生活感を踏まえた出入口、動線の設計が重要。(G,I) ●桃二小を象徴する歌碑と白旗桜を備えた広がりのあるエントランスを設け、児童の登校動線は 1 箇所に集約するとともに、学童クラブは別の出入口を設け動線分離を図ることが望ましい。(G,I,J) ●校庭の日当たり、校舎の採光を考えると、部分的な高層化の工夫などで可能な限り校庭を広く確保したい。(D,G) ●見栄えではなく、普通に使いやすく安全な校舎設計が望ましい。(G) ●区道沿いに歩道状空地を設けたり、正門前に広場を設けたりするなど、通学中の児童の安全確保を図るべき。(H,J) ●学校内学童クラブを整備するに当たり、学童クラブの自由な雰囲気と学校の教育環境との調和を保つ配慮が必要。(I) ●学校内に子どもの居場所をつくる、遊べる場所をつくる視点は大切。(I)
3　地域に開かれ、地域とともに子どもたちの健やかな成長を育む学校をつくる J 街のランドマークとして学校が地域に愛されるよう、広がりのあるエントランスを備え、学校の伝統の継承や良好な街並みに資する施設とします。 K 地域住民が使える開放会議室を設け、地域と学校との「かかわり」を伸ばし、地域コミュニティの核となる施設とします。 L 近隣の保育園児等が遊べる小規模の遊び場を整備し、就学前から親しみが湧く学校をつくります。 M 地域の防災拠点としての十分な機能を備えた施設を整備します。	○子どもたちを地域の人たちが見守り、交流ができるような学校づくりが必要である。(J,K) ○小中一貫教育を推進するとともに、地域とのつながりを一層助長する施設づくりを進めるべき。(K) ○現在、近隣保育園・幼稚園が運動会に利用するなどしており、幼保小の交流活動の一層の推進が重要。 (L) ○校庭と近隣地盤に高低差があり、校庭の水が外部に流出してしまう点が課題である。(M) ●桃二小を象徴する歌碑と白旗桜を備えた広がりのあるエントランスを設け、児童の登校動線は 1 箇所に集約するとともに、学童クラブは別の出入口を設け動線分離を図ることが望ましい。(G,I,J) ●雨水流出対策と同時に、校舎が浸水しないような設計上の工夫が必要だ。(M) ●善福寺川に近く、地盤の心配もある。学校は震災救援所に使われるから、耐震構造については十分留意するべき。(M) ●自然災害に備え、耐震上もしっかりとした建物にして欲しい。(M)

※　傍線部分が前回時の修正箇所　　○…第 1 回の意見　　●…第 3 回の意見